

# とき 時代を伝えて

## 平成の広報の歩み

1989.1 - 2019.4

今、平成という時代が終わろうとしています。  
平成最後の特集は、合併前の旧鶴岡市・藤島町・  
羽黒町・榎引町・朝日村・温海町の広報や合併  
後の『広報つるおか』の歩みをたどってみます。



# 平成の広報の歩み PART.1



『広報つるおか』  
(平成元年 1/15号)



『広報ふじしま』  
(平成元年 1/20号)



『町報はぐろ』  
(平成元年 1/20号)



『広報くしびき』  
(平成元年 2/1号)



『村報あさひ』  
(平成元年 2/1号)



『広報あつみ』  
(平成元年 2/1号)

平成になって最初に発行された、旧市町村の広報表紙。

月に2回発行していた旧鶴岡市（1日と15日）と藤島町（5日と20日）は、お知らせ版が平成最初の広報だった。



『広報ふじしま』  
(平成元年 4/5号)  
表紙デザインを大幅  
リニューアル。



『鶴岡の芭蕉』  
(平成元年 6/15 発行)  
奥の細道紀行300年を記念して発  
行した広報つるおか特集号。鶴岡  
と芭蕉の深い関わりを紹介した。



『広報ふじしま』特集  
(平成元年 9/5号)  
ふるさと創生事業を活用して開  
催された「第1回藤島川全国綱  
渡り大会」を特集した。



『広報つるおか』  
(平成3年 4/1号)  
モノクロから2色刷  
りになった。



『村報あさひ』  
(平成3年 5/1号)  
表紙デザインを大幅  
リニューアル。



『町報はぐろ』特集  
(平成3年 5/10号)  
「いでは文化記念館」の開館に  
伴って特集。同館を活用した  
まちづくりについて伝えた。



『村報あさひ』特集  
(平成3年 8/1号)  
「月山あさひ博物村」の開館に  
伴って特集。村おこしの拠点  
施設としての魅力を紹介した。



『母狩山と伝説』  
(平成4年 9/15 発行)  
広報つるおか900号記念  
特集号。砂谷・長滝開村  
にまつわる話などを紹介。



『広報あつみ』表紙・特集  
(平成4年 10/1号)  
秋篠宮殿下と妃殿下がべにばな国体  
のヨット競技をご覧になるため来町  
されたことを紹介する号となった。



『広報つるおか』特集  
(平成4年 11/1号)  
べにばな国体のサッカー(少年男子)、  
相撲、アーチェリーの会場となった  
旧鶴岡市の歓迎ムードがうかがえる。



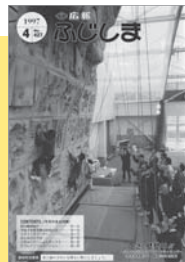
『広報くしびき』表紙・特集  
(平成4年 11/1号)  
旧櫛引町で開催された、べにばな国体のサッカー  
競技成年男子1部の模様をフルカラーで特集した。  
表紙・特集ともに、その熱気が伝わってくる。



『広報つるおか』  
(平成8年 4/1号)  
表紙デザインを大幅  
リニューアル。



『私の鶴岡物語～野球編～』  
(平成8年 12/1 発行)  
広報つるおか1,000号記念特集号。  
東京巨人軍が訪れた話など、鶴岡  
の野球にまつわる歴史を紹介した。



『広報ふじしま』  
(平成9年 4/5号)  
表紙デザインを大幅  
リニューアル。



『庄内4年制大学の  
問題について』  
(平成9年 7/15 発行)  
広報つるおか臨時増刊号。10年12  
月に第二報、11年8月に第三報を  
発行し、大学設置構想を報じた。



『広報つるおか』  
(平成10年 10/1号)  
表紙デザインを大幅  
リニューアル。



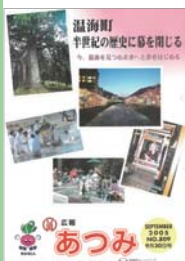
『わたしたちのまちが  
キャンパスなんだ。』  
(平成13年 6/1、14年 12/15 発行)  
広報つるおか鶴岡タウンキャンパス特  
集号。慶大先端生命研開所やその研究、  
公益大大学院開設について伝えた。



『広報あさひ』特集  
(平成13年 11/1号)  
昭和48年から28年の歳月をかけて  
完成した「月山ダム」を紹介。庄内南  
部地域を潤すダムの役割を特集した。



『広報ふじしま』  
(平成14年 1/1号)  
表紙デザインを大幅  
リニューアル。



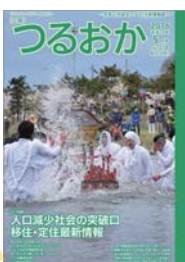
『広報あつみ』  
(平成17年 9/30号)  
広報あつみ最終号。



新『広報つるおか』創刊号  
(平成17年 10/1 発行)  
合併によって新「鶴岡市」が誕生し、旧市町村の広  
報も1つに。創刊号では、どんな市になってほし  
いか、各地域の代表1人ずつ6人にお話を聞いた。



広報つるおか特集『文化の継承』  
(平成20年 1/1号～21年 10/1号)  
鶴岡の多様な文化資源を未来につなげていこ  
うと、全21テーマ延べ22回にわたって座談  
会形式の特集を連載した。第1回は「黒川能」。



『広報つるおか』  
(平成28年 4/1号)  
新年号のみカラーだ  
った表紙と裏表紙を、  
通常号でもカラーに。



『広報つるおか』特集  
(平成28年 10/1号)  
市が会場となった全国豊かな海づく  
り大会へのご臨席のため、天皇皇后  
両陛下が訪問されたことを伝えた。



『広報つるおか』  
(平成31年 4/1号)  
平成最後の表紙を飾  
ってくれたのは、小  
学生の双子の兄妹。

いつも「広報つるおか」  
をご愛読いただきありが  
とうございます。これから  
も皆さんの暮らしに密着  
した情報の提供に努めて  
いきますので、引き続き  
当市広報にご理解とご協  
力をお願いいたします。  
☆本所総務課広報広聴係  
☎25 - 2111内線317



# 平成の広報の歩み PART.2



『広報あつみ』  
(平成5年 1/1号)  
表紙デザインを大幅  
リニューアル。



『広報ふじしま』特集  
(平成5年 5/5号)  
地域資源である「ふじの花」をテ  
ーマとしたまちづくりに、町を挙  
げて取り組んでいくことを報じた。



『町報はぐる』  
(平成6年 10/1発行)  
町制施行40周年記念誌。  
町勢要覧などを掲載し  
ている。



『広報あつみ』  
(平成6年 12/1号)  
旧温海町町村合併40周年記念号。  
この号から、表紙と裏表紙に見開  
きで写真を配置するデザインに。



『広報くしびき』特集  
(平成9年 10/1号)  
「産直あぐり」オープン特集。「果物  
の町」という地域特性を生かした  
まちづくりの推進をPRした。



『私の鶴岡物語～名曲編～』  
(平成10年 2/15発行)  
広報つるおか臨時増刊号。鶴岡に  
ゆかりの深い名曲『雪の降る街を』  
と音楽を愛する鶴岡の人々を特集。



『町報はぐる』  
(平成10年 3/1号)  
表紙デザインを大幅  
リニューアル。



『広報あつみ』  
(平成10年 5/1号)  
表紙デザインを大幅  
リニューアル。



『広報つるおか』特集  
(平成14年 7/1号)  
全国植樹祭のためご来県された天皇  
皇后両陛下が来鶴し、出羽庄内国際  
村をご視察されたことを紹介した。



『広報ふじしま』  
(平成17年 9/30号)  
閉町記念特別号。広  
報ふじしま最終号。



『町報はぐる』  
(平成17年 9/30号)  
町報はぐる最終号。



『広報くしびき』  
(平成17年 9/30号)  
広報くしびき最終号。



『広報あさひ』  
(平成17年 9/30号)  
広報あさひ最終号。



『広報つるおか』  
(平成25年 4/1号)  
月1回の発行とし、  
デザインをリニュー  
アル。



『広報つるおか』  
(平成26年 1/1号)  
表紙写真が山形県広  
報コンクールで特選  
に輝いた。



『鶴岡市文化会館改築整備事業特集号』  
(平成26年 11/1発行)  
芸術文化の拠点となる新文化  
会館について、改築工事の入  
札経過や施設の概要を伝えた。



『鶴岡市誕生10周年記念誌』  
(平成27年 9/1発行)  
合併・市制施行10周年を控え、これまでの歩みを  
振り返るとともに、市民の皆さんに「鶴岡のここ  
が好き！」をスケッチブックに書いてもらった。